２０２３年（令和５年）　１０月２０日　金曜日

デーリー東北　１２面　掲載

光星、青森山田 4強入り

秋季高校野球
東北地区大会

準々決勝

八学光星１３０００１３｜８
日大山形０００００１０｜１
（７回コールド）

（八）洗平－住本
（日）佐藤大、本田、大久保－高橋
▷二塁打　三上、山本（八）▷暴投　洗平（八）
▷試合時間　１時間53分
（球審＝宇都宮、塁審＝小松田、清水、菅原）

【評】八学光星が投打で圧倒し、快勝を収めた。１点リードの二回に５安打を集めて３得点。六回は洗平、七回には山本の適時打などで加点して突き放した。投げては洗平が７回１失点と力投。日大山形は打線が散発５安打と振るわなかった。

第76回秋季東北地区高校野球大会第４日は19日、秋田市のこまちスタジアムなど２球場で準々決勝４試合を行った。青森第１代表の青森山田は序盤から得点を重ねて試合を有利に進め、鶴岡東（山形①）に５－１で勝利。青森第２代表の八学光星は投打がかみ合い、日大山形（山形②）に８－１で七回コールド勝ちを収め、それぞれ４強入りを決めた。

20日は休養日のため、試合はない。第５日の21日はこまちスタジアムで準決勝２試合を実施する。青森山田は一関学院（岩手①）と八学光星は学法石川（福島③）とそれぞれ対戦する。（取材班）

一関学院（岩手）
００３１００００００
００１００００００
秋田修英
（一）高沢、梅田
（秋）渡辺、佐藤－尾上
学法石川（福島）
２００００００００１
００００１００００１
金足農（秋田）
（学）大栄－渡辺莉
（金）花田、吉田－相馬

【八学光星】打安点振球
竹子田５１１１１０１
砂田部５２１１１０１
襖本４２１１１０１
山本３２１１１０１
住原４３１１１０１
小笠原４３１１１０１
佐藤３３１１１０１
三上３３１１１０１
洗平４４１１１０１
住本４３１１１０１
矢野３２１１１０１
併殺１
塁盗１
失３
残１０
３１０１８３１１５７３３

【日大山形】打安点振球
那須３３０００１１
彩山津３０００１１
彩根３２００１１１
遠津３３１００１１
護藤３３１０１１１
島辺３３１０１１１
岩橋３３１０１１１
佐藤大２２００１１１
本田３２００１１１
大保４２００１１１
清野２０００１１１
浅野２０００１１１
地田０００００１１
併殺１
塁盗１
失２
残７
０１３２７２５５０８４

投手　回　打者　安打　振球　失
洗平　７　２９５８４１
佐藤大　６　３２　１４　３　２　８
本田　½　３　１　０　０　０
大久保　½　２　０　０　０　０

光星 日大山形にコールド勝ち

ヒーロー

洗平 投打で躍動

7回1失点 3安打

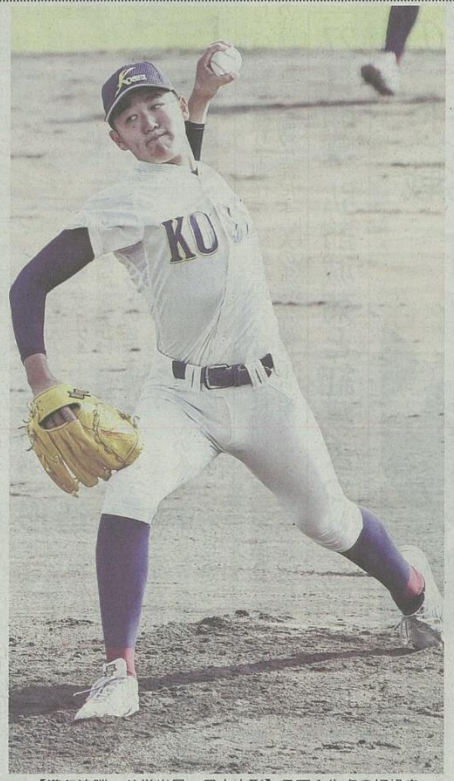
背番号1が投打で躍動した。今夏の甲子園を経験した八学光星の先発左腕・洗平比呂が、投げては7回を5安打8奪三振、1失点と好投し、打っても適時打を含む3安打を放った。洗平は「要所で三振を取れたのが良かった。バッティングでは直球を張ってフルスイングできたのが結果につながった」と満足げになずいた。

青森県大会では、投手層に厚みを持たせたい－という仲井宗基監督の狙いもあり、登板は準々決勝での1イニングのみ。公式戦では今夏の甲子園以来の先発となった。

課題の立ち上がりは、初回に一死から四球で走者を出すも、併殺で切り抜けた。その後は制球に苦しみ、マウンド上では何度も首をかしげる場面があったが、粘り強いピッチングを披露。力のある直球にスライダーやカーブ、チェンジアップといった変化球を交えて相手打線をねじ伏せた。

仲井監督は「一つ一つのボールに力があった。狙っても打てない球を投げてくれていた」とたたえた。

次戦は2季連続の甲子園出場が懸かる大一番。「マウンドに上がることがあれば最少失点で抑えたい」と力を込めた。（千葉達也）



【準々決勝・八学光星－日大山形】７回１失点の好投を見せた八学光星の洗平比呂＝横手市グリーンスタジアムよこて

打線復調15安打 光星

○…先発全員で15安打を放つ会心の内容で4強入りを決めた八学光星。2回戦では五回以降、無得点と消化不良気味だっただけに、仲井宗基監督は「初戦は硬さがあったが、本来の力が出せたかな」と打線の復調に上機嫌だった。

打線がつながり、ビッグイニングとなった二回と七回に適時打を放ち、2安打2打点と気を吐いた三上祥司は「カウントで追い込まれたら打ち方を変え、強い打球を飛ばす意識で打った」と胸を張った。

県大会では5番を任されながら、東北大会では8番を打つ三上は「打順にこだわりはない。とにかくつなぐバッティングができればいい」とチームファーストを強調。センバツが懸かる大一番へ向け、「プレッシャーはあるが、それを乗り越えていきたい」と闘志を燃やした。

【準々決勝・八学光星－日大山形】７回八学光星１死一、三塁、三上祥司が右前適時打を放ち、８－１とする